

電動車普及に向けた社会実装に参画



福島県と東京都、自動車メーカーや荷主・物流事業者等が連携
エネルギーマネジメントシステムの事業化を目指した
開発および実社会での運用を行う社会実装に、西濃運輸が参画

(社会実装の概要)

運行管理と一体となった、下記、エネルギーマネジメントシステムの構築を目指す

①車両の電池/水素残量等を考慮した、充電/水素充填タイミング・配送計画の
最適化による、ダウンタイムの低減

②荷主・物流事業者の配送計画・建屋電力等を考慮した事業所内充電、経路充電の
タイミング・充電量の最適化による電力需要の平準化

2023年より、東京都の西濃運輸拠点にて、
BEV小型トラック22台、FC小型トラック15台、FC大型トラック8台を導入

⇒将来的に、FC大型トラックの東京～福島間での幹線輸送での利用も検討



CO₂排出量削減への新たな取り組み



新スマート物流「SkyHub®」で福島県、同業他社、地元企業と連携
物流目線での地域課題解決、環境問題対策を推進。



過疎地域の物流クライシスに対し、

「荷物が当たり前が届く」

を持続可能にするための新スマート物流を構築
共同配送・ドローン配送・貨客混載を組み合わせ

カーボンニュートラルにも貢献

地域の物流課題

1. 物流事業者課題（2024年問題・赤字路線・担い手不足）
2. 交通弱者増加（高齢化・免許返納・山岳地帯）
3. 交通インフラ脆弱（路線・ダイヤ縮小・廃線）
4. 買物不便（徒歩圏内に商店なし・買置が必要）
5. 医療弱者増加（医師不足）

各事業者様が単体で行っている配送をデポに集約・効率化し地域物流を支える仕組み



買物サービス

処方箋配送

フードデリバリー

共同配送

域内配送



地域課題解決拠点
ドローンデポ

最適な輸送手段選択し効率的に配送

ドローン（空）



トラック（陸）



その他

